

社会資本整備総合交付金の重点整備計画 【連立】

平成 28年 4月 14日

計画の名称	12 伊勢崎駅周辺における連続立体交差化による都市機能向上									
計画の期間	平成25年度～平成26年度（2年間）				交付団体	群馬県				
計画の目標	伊勢崎駅周辺において、JR両毛線及び東武伊勢崎線を高架化することにより、都市内交通の円滑化を図るとともに、分断された市街地の一体化による都市の活性化を図る。									
計画の成果目標（アウトカム指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・連続立体交差化による踏切除却数 ・踏切による渋滞長 									
アウトカム指標の定義及び算定式	<p>鉄道の高架化により除却される踏切数を計上する。 Σ (踏切除却箇所数) (単位: 箇所)</p> <p>鉄道の高架化により解消される渋滞長を計上する。 Σ (各踏切における12時間調査の最大渋滞長) (単位: m)</p>									
全体事業費	合計 (A+B+C)	3,800 百万円	A	3,800 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

交付対象事業																		
A 地方道路整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接 間接	事業主体	道路種別	省略工種	率 (基本)	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
												H25	H26	H27	H28	H29		
12-A1	街路	一般	群馬県	直接	群馬県	S街路	改築	0.50	JR両毛線・東武伊勢崎線連続立体交差事業 (伊勢崎駅付近)	鉄道高架 L=4.70km	伊勢崎市						3,800	3-A114
合計															3,800			

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接 間接	事業主体	省略工種	率 (基本)	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H25	H26	H27	H28	H29		
合計															0		

番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接 間接	事業主体	省略工種	率 (基本)	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H25	H26	H27	H28	H29		
合計															0		

番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考

交付対象事業																						
A 地方道路整備事業																						
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接 間接	事業 主体	道路 種別	省略 工種	率 (基本)	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考				
												H25	H26	H27	H28	H29						
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況																						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況						JR両毛線・東武伊勢崎線連続立体交差事業(伊勢崎駅付近)により、JR両毛線の高架切換に引き続き東武伊勢崎線が平成25年10月19日に高架切換となった。その後、関連する側道や交差道路の工事が進み、平成27年7月末には、周辺道路の整備が完了した。当該事業の完了により、踏切による市街地の渋滞解消や鉄道で分断されていた市街地が一体化されるなど、事業効果が発現されている。																
II 定量的指標の達成状況		指標①(連続立体交差化による踏切除却数)		最終目標値	20箇所	目標値と実績値 に差が出た要因	計画どおりに事業が実施され、JR両毛線で7箇所、東武伊勢崎線で13箇所、合計20箇所の踏切が除却された。															
				最終実績値	20箇所																	
		指標②(踏切による渋滞長)		最終目標値	0m	目標値と実績値 に差が出た要因	20箇所の踏切を除却する抜本的な対策により、踏切により発生していた市街地の渋滞が全て解消された。															
				最終実績値	0m																	
						最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因														
						最終実績値																
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)						①交差道路41箇所や側道の整備により、消防活動や救急搬送が迅速化された。 ②鉄道高架化により、騒音・振動が軽減され、鉄道沿線の生活環境が向上した。 ③新駅舎建設により、バリアフリー化されたことで、全ての人にとって使いやすい駅になった。 ④人・物の交流が活性化され、伊勢崎駅の乗降客数が事業前に比べて14%増加した。 (高架化前:平成21年度15,190人/日→高架化後:平成26年度17,305人/日)																
3. 特記事項(今後の方針等)																						
伊勢崎駅付近連続立体交差事業の完了により、都市内交通の円滑化や市街地の一体化が図れた。今後は、別途計画である「都市部における高速道路・鉄道駅と周辺幹線道路のアクセス強化による魅力あるまちづくりの推進」で実施している伊勢崎駅周辺第一地区及び第二地区の区画整理事業の進捗が図られることで、伊勢崎市市街地の更なる健全な都市の発展が期待できる。																						